



「『#蕨メシ』で投稿してください」と竹脇さん

輝いています

ひと

「#蕨メシ」考案者

たけ わき はじめ
竹脇 大 さん

蕨の“美味しい”を守りたい

「美 味い」 味はコロナに負けな
援する『#(ハッシュタグ)蕨
メシ』。店の人や市民にテイ
アウトメニューを撮ってもら
い、検索用の『#蕨メシ』を付
けてTwitterなどのSNSに
投稿してもらおうこの取
り組みを先月上旬に考案した
のが市内の企業で働く竹脇大
さん(北町5丁目・38歳)です。
SNSで検索すると、おしい
そうな料理が並んでいます。
新型コロナウイルス感染症
が拡大し、外出自粛が求めら
れるなか、飲食業界にも深刻
な影響が出ています。市内飲
食店をよく利用している竹脇
さんは、なじみの店の店主た
ちの声を聴き、「いつもおしい

い食事を提供してくれる人た
ちになにかできないか」と、
考えていました。そんなとき
出合ったのが、大分県別府市
の取り組み『#別府エール飯』
でした。これは蕨でもすぐに
やるべきだと思い自らホーム
ページを作成。SNSに投稿
し『#蕨メシ』を広めました。
こうした活動は、実は以前
助けてくれた皆さんへの恩返
しでもあります。蕨商工会議
所青年部の一員として6年前
から活動している竹脇さん。
一昨年、実行委員長を務めた
「わらんちゅフェスティバル」
を初めて市民公園で開催する
と決めたとき、採算がとれる
か分からないなかでも、飲食
店の皆さんは快く出店を引き
受けてくれました。そのおかげ
で、一日に約2万5千人が
訪れるほどのにぎわいを見せ
大盛況に。「いっしょに蕨を盛
り上げてきた仲間が困ってい
る今、次は自分が助ける番で
す」と、熱い思いを語ります。
「今は世界中がたいへんな
状況ですが、一人ひとりにで
きるがあります。みんな
で、蕨のおいしい飯を守りま
しょう」と話す竹脇さん。皆
さんも『#蕨メシ』を使い、
「食べて応援」しませんか。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蕨にあり

—No.48—



ジョサイア・コンドル筆
「百舌図」
絹本墨画淡彩 軸装

本作品は右記の展覧会で御覧いただけます

「日本近代建築の父」と呼
ばれるイギリス人建築家ジョ
サイア・コンドル(1852~
1920)は、明治14年(18
81)頃から暁斎に入門して
日本画を学び、「暁英」の画号
を授かりました。本図は、そ
のコンドルが百舌を描いた掛
軸です。百舌は蛙をくちばし
で捕らえ、右上の枝には蜂が
刺さっています。このように
百舌が捕らえた獲物をすぐに
食わずに貯食等のため木の枝
や有刺鉄線のとげに突き刺す
習性を「百舌の早贄」と言い
ますが、コンドルが生き物の
生態や特徴をよくつかんで描
いたことが分かる作品です。

河鍋暁斎記念美術館 5月8日(金)~5月25日(月)
「ジョサイア・コンドル没後100年記念
コンドルが愛した日本の花鳥風月」展 同時開催
「暁斎プラスワンシリーズ34 暁斎を彩る—うちわ絵色差し—」展

開館=午前10時~午後4時
休館=5月6日まで臨時休館・木曜日・毎月
26日~末日 ※新型コロナウイルスの感染防
止対策等により、予定が急に変更される場合
があります。最新の情報はホームページ参照
ところ=南町4-36-4
入館料=一般600円 65歳以上500円
高校生・大学生500円 小・中学生300円
詳細=同館(☎441-9780)



詳しい内容は
美術館のホーム
ページをご
参照ください



現在の茨城県古河市
に生まれる。浮世絵
や狩野派を学び、江
戸・東京の庶民から
人気を博す。明治9
年、万国博覧会に肉
筆画を出品。14年、
内国勲業博覧会で日
本画の最高賞受賞。
娘の暁翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 暁斎
天保2年(1831)
~明治22年(1889)